

ひとりぼっちのいない町をつくる — 貧困・教育格差に取り組む大阪・高槻富田の実践に学ぶ

日時 2024年5月24日（金）13：00～14：30

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 岡本 工介（委嘱研究員）

近年、とりわけ大阪府内の被差別部落において、一地区一社会企業をキーワードにNPOなどを地域住民自らが立ち上げ、従来の同和対策事業の対象であった被差別部落のエリアの枠を超えて周辺地域も対象にしながら子どもの貧困をはじめとするさまざまな社会課題解決の動きが起こり始めている。

本講座では、大阪・高槻富田を拠点に社会的企業として設立された一般社団法人タウンスペースWAKWAKの取り組みに注目する。この取り組みでは、被差別部落において長年培われ発展した教育・まちづくりの実践を、現代の子どもの貧困等に対応するための、より広域の包摂支援として展開している。また、これまで部落解放運動を通して培ってきた社会運動性をコミュニティ・オーガナイズングに取り入れ、多セクター共創で「ひとりぼっちのいない町」づくり（社会的包摂をめざすまちづくり）に大きく転換し実践している。これら部落差別の実践的課題解決の一端に触れてみたい。

【参考文献】岡本工介「ひとりぼっちのいない町をつくる — 貧困・教育格差に取り組む大阪・高槻富田の実践に学ぶ」明石書店、2024

* * *

●聴講無料（定員200名／先着順）＜事前申込制＞

人権問題研究室ホームページ トップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>) にある「新着情報」内の本講座案内ページの申込フォームから事前を受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

空席がある場合に限り、事前申込をされていなくても聴講は可能です（当日会場にて参加受付を行います）。ただし、なるべく事前申込を行ってください。

手話通訳が必要な場合は、5月9日（木）までに人権問題研究室へご連絡ください。

第117回 10月25日（金）13：00 「川上村における地域福祉政策と地域共生社会づくりの取組について」（仮題）

第118回 11月22日（金）13：00 「融和運動と部落女性」（仮題）

会場は、尚文館 1階 マルチメディアAV大教室（予定）



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>